

株式会社みらい造船



代表取締役社長
木戸浦 健歓 氏

●企業の概要

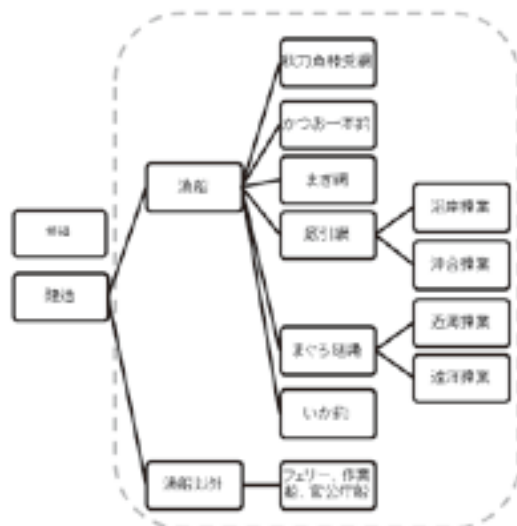
企業名：株式会社みらい造船
 代表者：代表取締役社長 木戸浦 健歓
 住所：宮城県気仙沼市浪板245番地
 設立年：平成27年
 業種：造船業
 資本金：23.3百万円
 従業員数：9名

●事業の概要

当社は、東日本大震災で被災した気仙沼の造船4社が設立した造船会社（平成30年には4社を合併）。漁船専門造船所としては、国内初の津波の被害を受けにくいシップリフト方式を採用した造船施設を建設、気仙沼の造船業再生と北欧など海外への漁船輸出を計画。

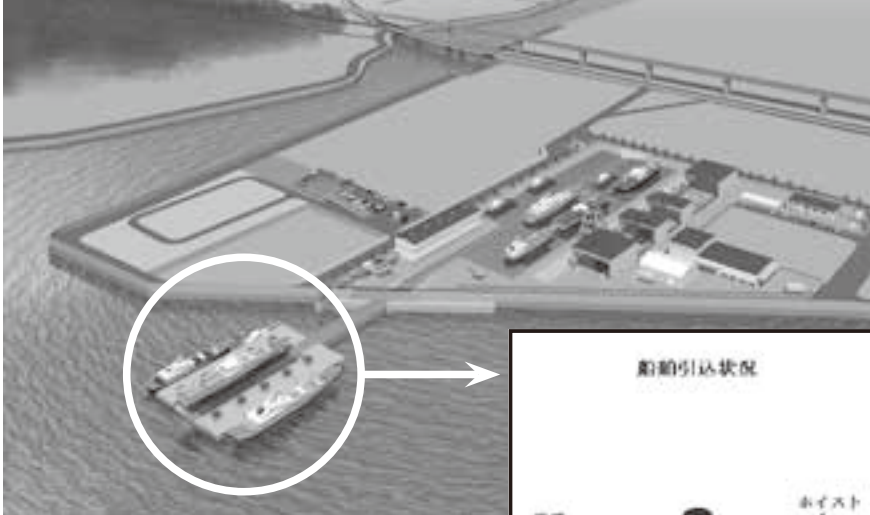


本社

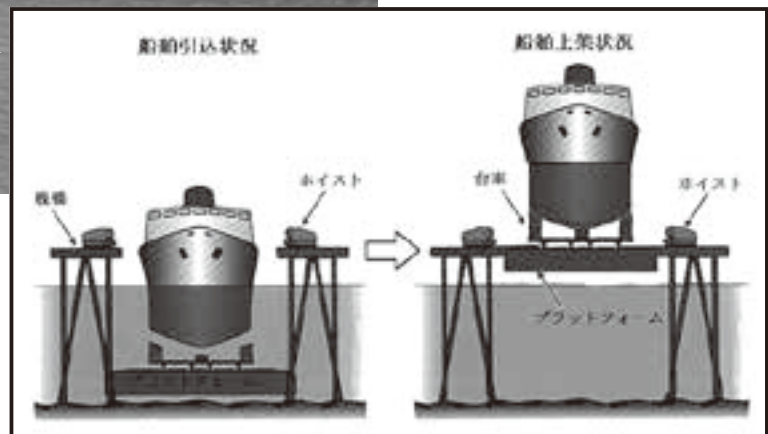


4社合併後の取扱船種

東日本大震災で被災した気仙沼の造船4社が合併、 シップリフト方式を採用した造船所と取扱船種の拡大で、 港町である気仙沼の産業を守る



新造船所完成予想図



シップリフトの仕組み

●受賞の理由

日本の水産業の停滞や日本人の魚介類消費量の落ち込みにより、中小の漁船造船業は長期停滞傾向で存続も厳しくなっている中、東日本大震災で発生した津波により気仙沼の造船会社のほとんどの施設・設備が損壊または流出し、敷地も地盤沈下するなど甚大な被害を受けた。

気仙沼は国内有数の水揚げを誇る漁港であるが、それは水揚げする漁船に対し、船舶の建造・メンテナンスや資材・燃料補給などのサービスを提供する気仙沼の漁港機能により成り立ってきた。

当社は気仙沼の漁港機能のひとつである造船業の再建・発展のため、地元の協力を得て平成27年に設立、現在は平成31年稼働予定の新しい造船所を建設中である。

新しい造船所では、作業の安全性・効率性が向上し、なおかつ津波の被害を受けにくい、国内の漁船専門造船会社では初めての「シップリフト方式」を採用。これは漁船の船体をエレベーター方式で陸揚げするシステムで、船体を防潮堤内部の平坦な作業場に移すことができ、従来と比較して作業効率と環境性の向上が見込まれ、万が一津波災害が起こった場合作業や上架船舶の安全性が格段に改善する。

また、合併する4社はそれぞれ専門性が異なるため、多様な種類の漁船建造・修繕が可能となる。加えてより大型の船舶建造も可能となり、国内外他社との差別化による幅広い顧客の取り込みが期待でき、将来的には漁業が盛んな北欧をはじめ海外への漁船輸出を目指すなど事業拡大が期待される。

本事業は、造船業の再興を通じて港町である気仙沼の船主、魚市場、問屋、製氷、水産加工、運輸など多くの産業と雇用を守る取り組みとして高く評価できる。

当社は「シップリフト方式」の採用と4社の合併による強みを活かし、気仙沼の造船業の再建および発展を目指しており、地域産業を根幹から支える企業として、今後の活躍が大いに期待される。